



平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年2月7日

上場取引所 東 名

上場会社名 東陽倉庫株式会社

コード番号 9306 URL <http://www.toyo-logistics.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 白石 好孝

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長

(氏名) 大橋 宏道

TEL 052-581-0251

四半期報告書提出予定日 平成23年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第3四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	15,283	6.7	616	50.9	684	56.5	608	215.4
22年3月期第3四半期	14,327	△13.6	408	△8.1	437	△4.3	192	60.8

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	15.97	—
22年3月期第3四半期	5.06	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第3四半期	31,452	15,307	48.7	401.73
22年3月期	31,501	15,097	47.9	396.20

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 15,307百万円 22年3月期 15,097百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	3.50	—	3.00	6.50
23年3月期	—	3.50	—		
23年3月期 (予想)				3.00	6.50

(注)当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,200	5.4	800	40.0	850	37.9	500	53.8	13.12

(注)当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.2「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無
新規 一社（社名 ）、除外 一社（社名 ）
（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有
（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
① 会計基準等の改正に伴う変更 有
② ①以外の変更 無
（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）
① 期末発行済株式数（自己株式を含む） 23年3月期3Q 39,324,953株 22年3月期 39,324,953株
② 期末自己株式数 23年3月期3Q 1,220,120株 22年3月期 1,217,777株
③ 期中平均株式数（四半期累計） 23年3月期3Q 38,106,477株 22年3月期3Q 38,111,325株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を実施しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
2. その他の情報	2
(1) 重要な子会社の異動の概要	2
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	2
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	2
3. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書	5
(第3四半期連結累計期間)	5
(3) 継続企業の前提に関する注記	6
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	6

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における日本経済は、新興国からの需要増加を背景に、輸出は増加基調にあるものの、米国向けは弱含みの状況が見られます。また、設備投資は持ち直しつつあるものの、ややそのペースは鈍化してきております。雇用・所得環境においては依然厳しい状況にあり、世界情勢や自動車販売及び、為替相場の動向なども不透明な状況で推移しております。

このような事業環境の下、当社グループは、これまで強化してきた経営基盤を基に、積極的な営業活動の推進、業務品質の向上に努め、企業体質の強化を進めてまいりました。

この結果、国内物流事業、国際物流事業における取扱増により営業収益は前年同四半期より956百万円(6.7%)増加し、15,283百万円、経常利益は前年同四半期より246百万円(56.5%)増加し、684百万円となりました。また、四半期純利益は、倉庫売却に伴う特別利益が698百万円発生したこと等により、前年同四半期より415百万円(215.4%)増加し、608百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間におけるセグメント別の業績は次のとおりであります。

<国内物流事業>

主に保管・荷役共に取扱量が増加したことにより、営業収益は8,149百万円となりました。

<国際物流事業>

非鉄金属及び農産物等の輸入貨物や化学工業品等の輸出貨物の取扱いは、増加基調で推移し、また、船内荷役等の取扱いの回復により、営業収益は6,813百万円となりました。

<不動産事業>

一部賃貸施設において稼働率が低調に推移したこともあり、営業収益は320百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産・負債及び純資産の状況

当第3四半期末の資産につきましては、前連結会計年度末より48百万円減少し、31,452百万円となりました。主な要因は、減価償却による有形固定資産の減少等により、固定資産が903百万円減少したのに対し、固定資産売却に伴う預金の増加等、流動資産が854百万円増加したことによるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末より258百万円減少し、16,145百万円となりました。主な要因は、借入金の返済による減少であります。

純資産につきましては、前連結会計年度末より209百万円増加し、15,307百万円となりました。主な要因は、利益剰余金の増加によるものであります。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

①減価償却費の方法として定率法を採用している固定資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

②繰延税金資産の回収可能性の判断については、前事業年度末以降、経営環境等及び一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められる場合は、前年度決算において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これにより、営業利益、経常利益は、それぞれ6,249千円、税金等調整前四半期純利益は39,361千円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は108,913千円であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,276,857	1,754,230
受取手形及び営業未収入金	3,086,665	2,724,052
仕掛品	—	539
原材料及び貯蔵品	9,889	10,146
その他	645,140	674,749
貸倒引当金	△3,548	△3,698
流動資産合計	6,015,003	5,160,020
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	11,104,214	11,861,257
土地	7,007,774	7,131,304
その他(純額)	1,493,454	1,664,081
有形固定資産合計	19,605,443	20,656,642
無形固定資産		
無形固定資産合計	209,982	216,915
投資その他の資産		
投資有価証券	3,819,208	3,800,020
その他	2,043,314	1,907,223
貸倒引当金	△239,964	△239,199
投資その他の資産合計	5,622,558	5,468,044
固定資産合計	25,437,984	26,341,603
資産合計	31,452,988	31,501,623

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	1,164,865	1,153,342
短期借入金	2,881,410	3,175,826
未払法人税等	357,753	168,887
引当金	49,982	215,090
その他	867,438	593,176
流動負債合計	5,321,449	5,306,323
固定負債		
長期借入金	7,285,310	7,677,340
引当金		
退職給付引当金	2,311,107	2,378,823
その他の引当金	108,680	123,380
引当金計	2,419,787	2,502,203
資産除去債務	110,469	—
その他	1,008,277	917,831
固定負債合計	10,823,844	11,097,375
負債合計	16,145,293	16,403,698
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,412,524	3,412,524
資本剰余金	2,178,964	2,178,964
利益剰余金	9,877,589	9,516,722
自己株式	△286,182	△285,751
株主資本合計	15,182,896	14,822,460
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	124,797	275,463
評価・換算差額等合計	124,797	275,463
純資産合計	15,307,694	15,097,924
負債純資産合計	31,452,988	31,501,623

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
営業収益	14,327,145	15,283,808
営業原価	13,314,176	14,044,885
営業総利益	1,012,968	1,238,923
販売費及び一般管理費	604,698	622,783
営業利益	408,270	616,139
営業外収益		
受取利息	10,808	8,384
受取配当金	59,478	59,050
持分法による投資利益	78,280	78,857
助成金収入	—	59,035
その他	54,617	20,500
営業外収益合計	203,184	225,828
営業外費用		
支払利息	165,620	147,979
その他	8,576	9,766
営業外費用合計	174,197	157,746
経常利益	437,257	684,221
特別利益		
固定資産売却益	3,246	700,205
株式割当益	—	9,285
投資有価証券売却益	111,773	—
その他	—	1,281
特別利益合計	115,019	710,772
特別損失		
固定資産除売却損	64,079	113,044
投資有価証券評価損	111,987	111,313
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	33,112
その他	7,110	2,999
特別損失合計	183,176	260,470
税金等調整前四半期純利益	369,100	1,134,523
法人税、住民税及び事業税	67,703	464,173
法人税等調整額	108,418	61,789
法人税等合計	176,122	525,963
少数株主損益調整前四半期純利益	—	608,560
四半期純利益	192,978	608,560

(3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。